

習志野市内の二つの大学千葉工業大学、日本大学生産工学部、東邦大学の学生とともに、習志野市はならしの学生生活活用ガイドブック「NARASHI-NOTE（ナラシノノート）」を作りました。

発行 行・習志野市広報課、企画協力・CNT
(3大学連携学生スタッフフォーラス)

ならしの学生生活活用ガイドブック NARASHI-NOTE



収録されているのは

- 隠れた名店
たまに行くならこんな店
- 天気のいい日は街に出よう
2時間散歩
- 体を動かそう！
スポーツ施設特集
- これが習志野名物だ！
イベントカレンダー
- のんびり無料スポット特集
- 習志野バスガイド
- 新入生お役立ち情報
- おしゃれなカフェ
- 素敵な喫茶店 など

この作成にあたっては、平成28年10月から3大学の協力を得て27名の学生が参加。毎月1回の編集会議を行いながら進めました。

学生の声を聞くと大学や最寄り駅の周辺は利用しているものの、「それ以外の場所は知らない」「気になる店やスポットがあっても敷居が高く感じて通り過ぎていく」という実態が分かりました。

そこで、メンバーが気になるスポットをピックアップし、3班に分かれて取材を行いました。日大生や東邦大生が自分たちの活動エリアの大久保の穴場を千葉工大生に紹介するなど交流もしてきました。

学生たちの視点で捉えた習志野は「おいしーのたのしーのならしーの」「ナラシノを使い倒す」などのキャッチコピーで表現されています。
習志野市がこの企画を実現した背景には「20歳代後半の若者世代における大幅な転出超過」があり、このまちの魅力を知ってもらうことで大学卒業後も住み続けたり、転出してまた戻ってくることを目指しています。

この冊子はA5版、フルカラー36ページ。1万部発行。3大学、および市広報課（Tel 047-411-5871）で無料配布しています。
市のHPに電子書籍版を掲載。スマートフォンで見られます。

第22回「卒サラを考えるはずんだフォーラム」開催

「船橋市時活村」は、平成7年4月に創立し、今年で23年目を迎えました。

サラリーマンなら誰もが経験する「定年」を考え始めた人から、既に定年になった人々が、『定年＝卒サラ』という共通項で、ヒューマンネットワークを結びようという集まりです。

定年となる65歳から20年間生きる」とすると、誰もが持つ「10万時間」の余暇時間（自遊時間）を「どう・が」んばらないで、はずんで生きていくかを考え、実践するために、一人一人が何か一つの活動（二人一活）を見つけ、以下に掲げたその（一人二活の活動や、村が主催する活動（全体行事）に参加しながら、【自分づくり】【仲間づくり】をしつつ、地域社会へのソフトウェアデザインを目指します。

平成15年度には千葉県内の団体としては初めて、内閣府から「社会参加章」を受章しました。更に平成29年2月には、地域再生大賞選考委員会が選ぶ「第7回地域再生大賞特別賞」を受賞しました。

フォーラム開催要領

日時 平成29年5月21日（日）
午後1時30分～4時10分
場所 船橋市中央公民館講堂（6階）
内容 ①基調講演 「自分流に楽しむ10万時間」
②第20回「達人式」
③デイスカッション
④時活村活動紹介

NPO法人 船橋市時活村

〒274-0063 船橋市習志野台
1-11-1 八田ビル2階
Tel 047-402-2414
(月～金午前10時～午後4時)
Fax 047-402-2415